

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月7日

上場会社名 イートアンド株式会社

上場取引所 大

コード番号 2882 URL <http://www.eat-and.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 文野 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 中島 靖雅

TEL 06-6271-1110

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	14,071	10.0	803	△25.0	805	△25.4	429	△27.8
23年3月期第3四半期	12,790	—	1,071	—	1,080	—	595	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	375.50	341.61
23年3月期第3四半期	2,959.06	—

(注) 1. 平成22年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成23年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 平成23年3月28日を基準日として平成23年3月29日付で1:5の株式分割を行っております。そのため、平成23年3月期第3四半期の1株当たり四半期純利益については、当該株式分割前の数値で表示しております。

3. 平成23年3月期第3四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は平成23年3月期においては非上場であり、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	8,971	2,631	29.3
23年3月期	7,105	1,684	23.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,631百万円 23年3月期 1,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,315	8.1	1,020	22.2	1,007	20.0	488	10.8	420.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	1,206,265 株	23年3月期	1,006,015 株
24年3月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期3Q	1,144,953 株	23年3月期3Q	201,203 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
( 3 ) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2 . サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
( 1 ) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
( 2 ) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3 . 四半期財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期損益計算書 .....	6
第3 四半期累計期間 .....	6
( 3 ) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
( 4 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
( 5 ) セグメント情報等 .....	9
( 6 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
( 7 ) 重要な後発事象 .....	10
4 . 補足情報 .....	11
( 1 ) 仕入実績 .....	11
( 2 ) 販売実績 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災に起因する各種の混乱は一段落したものの、欧州の金融不安や米国の景気回復遅れとそれに伴う円高進行のほか、一部産業がタイの洪水の影響を強く受けるなど、景気浮揚のきっかけを見出しにくく、景気停滞感とデフレ基調の下で推移しました。

食品業界におきましては、昨年から今年にかけての国内の天候の影響を受けて乳製品の価格が上昇したほか、野菜価格が乱高下するなどしておりますが、大きな混乱は起きておりません。しかしながら、東日本を中心とする一次産品の放射能汚染への懸念や牛肉食中毒事件に関する風評などの影響により、消費者の食の安心・安全に対する意識は、デフレ化における価格に対する意識とともに非常に高い水準となっております。

この様な状況の下、当社では、原価においては契約農場など直接仕入ルートの強化や、全社の売上原価に占める内製品の比率を前年同時期より上昇させることなどで、安心・安全な食材や商品の提供に努めてまいりました。また、販売においては特に外食加盟店ならびに一般量販店向けの販売強化に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の当社の業績は、売上高が140億71百万円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益が8億3百万円（前年同四半期比25.0%減）、経常利益が8億5百万円（前年同四半期比25.4%減）、四半期純利益は4億29百万円（前年同四半期比27.8%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### 外食事業

外食事業におきましては、大阪王将の新規出店が順調に進捗したほか、和テイストのパスタレストランやオーガニックレストランといった、新しいコンセプトの店舗開発にも取り組みました。

なお、当第3四半期累計期間におきましては、加盟店32店舗、直営店7店舗の計39店舗を出店した一方、加盟店4店舗、直営店5店舗の計9店舗を閉店した結果、当第3四半期末店舗数は、加盟店335舗（うち海外9店舗）、直営店32店舗の計367店舗（うち海外9店舗）となっております。

以上の結果、外食事業における当第3四半期累計期間の売上高は、72億1百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。

#### 食料品販売事業

食料品販売事業におきましては、主力商品である冷凍餃子の内製化推進を基盤とし、商品自体の競争力と営業体制両面での強化に取り組んだ結果、業績を伸ばすことができました。

以上の結果、食料品販売事業における当第3四半期累計期間の売上高は、68億70百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産の部)

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は、前事業年度末と比較して18億65百万円増加し、89億71百万円となりました。主な増減要因は次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末より13億50百万円増加し、55億97百万円となりました。主な要因は、株式の発行に伴う現金及び預金の増加および売掛金の増加であります。

固定資産は、前事業年度末より5億15百万円増加し、33億73百万円となりました。主な要因は、平成24年7月20日竣工予定である新設工場用地および建設仮勘定の増加であります。

##### (負債の部)

当第3四半期会計期間末の負債の残高は、前事業年度末より9億19百万円増加し、63億40百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末より9億17百万円増加し、53億2百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加であります。

固定負債は、前事業年度末より2百万円増加し10億37百万円となりました。主な要因は、固定負債その他（預り保証金）の増加および長期借入金の減少であります。

なお、借入金と社債の残高は、前事業年度末より1億3百万円減少し、3億25百万円となりました。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は、前事業年度末より9億46百万円増加し、26億31百万円となりました。主な要因は、株式の発行に伴う資本金および資本剰余金の増加であります。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に対して58百万円増加し、12億93百万円(前年同四半期比17百万円減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3億60百万円(前年同四半期比4億63百万円減)となりました。これは主に、税引前四半期純利益7億87百万円の計上、減価償却費2億1百万円の計上、売上債権12億24百万円の増加、仕入債務10億44百万円の増加、法人税等の支払額4億57百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6億64百万円(前年同四半期比4億71百万円増)となりました。これは主に、平成24年7月20日竣工予定である新設工場用土地を含む有形固定資産の取得による支出6億84百万円、差入保証金の回収による収入40百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は3億61百万円(前年同四半期比4億95百万円増)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1億39百万円、株式の発行による収入5億26百万円によるものであります。

(3)業績予想に関する定性的情報

平成23年11月8日付「平成24年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表しました業績予想に変更はございません。なお、本資料発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、今後様々な要因により異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 四半期財務諸表

#### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,272,555	1,335,086
売掛金	2,409,783	3,634,294
商品及び製品	322,719	382,714
原材料及び貯蔵品	41,592	111,025
前払費用	59,355	56,479
繰延税金資産	115,819	59,751
その他	52,257	33,285
貸倒引当金	27,146	15,127
<b>流動資産合計</b>	<b>4,246,936</b>	<b>5,597,510</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物(純額)	726,943	763,919
土地	882,004	1,088,972
その他(純額)	523,990	817,100
<b>有形固定資産合計</b>	<b>2,132,939</b>	<b>2,669,993</b>
<b>無形固定資産</b>		
	41,223	37,449
<b>投資その他の資産</b>		
差入保証金	425,110	429,438
繰延税金資産	134,653	104,414
その他	154,930	162,363
貸倒引当金	30,523	29,923
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>684,170</b>	<b>666,293</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>2,858,333</b>	<b>3,373,735</b>
<b>資産合計</b>	<b>7,105,269</b>	<b>8,971,246</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	1,754,042	2,798,868
短期借入金	112,000	158,000
1年内返済予定の長期借入金	204,005	131,700
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
未払金	1,155,723	1,303,711
未払費用	186,252	226,254
未払法人税等	214,410	39,910
賞与引当金	121,661	67,077
役員賞与引当金	14,140	15,412
売上割戻引当金	401,028	388,030
その他	202,075	163,802
<b>流動負債合計</b>	<b>4,385,340</b>	<b>5,302,767</b>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
固定負債		
長期借入金	92,254	25,318
退職給付引当金	64,191	67,805
役員退職慰労引当金	247,780	260,030
その他	630,812	684,180
固定負債合計	1,035,037	1,037,334
負債合計	5,420,378	6,340,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	173,977	437,172
資本剰余金	106,413	369,608
利益剰余金	1,404,130	1,823,998
株主資本合計	1,684,521	2,630,779
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	370	365
評価・換算差額等合計	370	365
純資産合計	1,684,891	2,631,144
負債純資産合計	7,105,269	8,971,246

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	12,790,628	14,071,914
売上原価	7,981,254	9,172,342
売上総利益	4,809,374	4,899,572
販売費及び一般管理費	3,737,680	4,096,066
営業利益	1,071,693	803,505
営業外収益		
受取利息	1,532	1,064
受取配当金	130	145
受取手数料	17,276	12,349
補助金収入	1,740	40
貸倒引当金戻入額	-	12,619
雑収入	2,256	1,465
営業外収益合計	22,936	27,684
営業外費用		
支払利息	11,972	7,628
社債利息	164	64
株式交付費	-	5,716
株式公開費用	-	9,481
雑損失	2,415	2,482
営業外費用合計	14,553	25,373
経常利益	1,080,077	805,816
特別利益		
固定資産売却益	432	-
投資有価証券売却益	-	180
受取保険金	21,541	-
その他	1,042	-
特別利益合計	23,017	180
特別損失		
固定資産売却損	733	1,104
固定資産除却損	5,372	12,252
投資有価証券売却損	-	80
減損損失	42,413	2,139
店舗閉鎖損失	363	3,153
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,996	-
特別損失合計	54,879	18,730
税引前四半期純利益	1,048,214	787,265
法人税、住民税及び事業税	412,632	270,978
法人税等調整額	40,209	86,357
法人税等合計	452,841	357,336
四半期純利益	595,372	429,928



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,048,214	787,265
減価償却費	218,911	201,396
減損損失	42,413	2,139
店舗閉鎖損失	363	3,153
受取保険金	21,541	-
投資有価証券売却損益(は益)	46	99
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,996	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	4,505	3,614
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	10,490	12,250
賞与引当金の増減額(は減少)	52,261	54,584
役員賞与引当金の増減額(は減少)	1,011	1,272
売上割戻引当金の増減額	36,636	12,998
貸倒引当金の増減額(は減少)	12,440	12,619
受取利息及び受取配当金	1,663	1,209
支払利息	12,137	7,692
株式交付費	-	5,716
株式公開費用	-	9,481
有形固定資産除売却損益(は益)	5,673	13,357
売上債権の増減額(は増加)	1,146,710	1,224,510
たな卸資産の増減額(は増加)	197,067	129,428
その他の資産の増減額(は増加)	4,732	24,848
仕入債務の増減額(は減少)	940,126	1,044,826
未払費用の増減額(は減少)	36,758	39,861
未払金の増減額(は減少)	159,927	105,433
未払消費税等の増減額(は減少)	47,076	62,276
預り保証金の増減額(は減少)	68,200	85,450
その他の負債の増減額(は減少)	5,371	24,789
その他	996	-
小計	1,238,675	825,124
利息及び配当金の受取額	1,648	1,047
利息の支払額	11,558	7,463
保険金の受取額	21,541	-
法人税等の支払額	425,897	457,743
営業活動によるキャッシュ・フロー	824,409	360,964

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(は増加)	95,500	4,500
有形固定資産の取得による支出	315,151	684,249
有形固定資産の売却による収入	23,913	4,268
無形固定資産の取得による支出	5,957	6,286
無形固定資産の売却による収入	187	-
投資有価証券の取得による支出	-	1,907
投資有価証券の売却による収入	226	763
関係会社株式の取得による支出	-	7,308
貸付金の回収による収入	20,356	6,393
差入保証金の差入による支出	34,170	12,927
差入保証金の回収による収入	21,619	40,948
投資活動によるキャッシュ・フロー	193,477	664,805
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(は減少)	155,000	46,000
長期借入金の返済による支出	169,260	139,241
社債の償還による支出	10,000	10,000
株式の発行による収入	-	526,240
配当金の支払額	10,060	10,060
株式の発行による支出	-	15,198
リース債務の返済による支出	99,252	36,017
ストックオプションの行使による収入	-	150
財務活動によるキャッシュ・フロー	133,573	361,872
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	497,358	58,031
現金及び現金同等物の期首残高	813,699	1,235,247
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,311,057	1,293,278

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整 (注)1	四半期損益 計算書合計 額(注)2
	外食事業	食料品 販売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	6,917,350	5,873,277	12,790,628	12,790,628	-	12,790,628
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-	-
計	6,917,350	5,873,277	12,790,628	12,790,628	-	12,790,628
セグメント利益	820,635	324,257	1,144,892	1,144,892	73,199	1,071,693

(注)1. 前第3四半期累計期間におけるセグメント利益の調整額 73,199千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」セグメントの店舗設備について、42,413千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整 (注)1	四半期損益 計算書合計 額(注)2
	外食事業	食料品 販売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	7,201,521	6,870,392	14,071,914	14,071,914	-	14,071,914
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-	-
計	7,201,521	6,870,392	14,071,914	14,071,914	-	14,071,914
セグメント利益	549,833	330,448	880,282	880,282	76,776	803,505

(注)1. 当第3四半期累計期間におけるセグメント利益の調整額 76,776千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月24日付の大阪証券取引所JASDAQ市場(スタンダード)への株式上場にあたり、募集新株式を発行し、平成23年6月23日に払込が完了いたしました。この結果、資本金および資本準備金がそれぞれ263,120千円増加しております。

ストックオプションとしての新株予約権の権利行使により資本金および資本準備金がそれぞれ75千円増加しております。

以上の結果、当第3四半期会計期間末における資本金が437,172千円、資本剰余金が369,608千円(うち、資本準備金が369,608千円)となっております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 仕入実績

当第3四半期累計期間における仕入実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
外食事業(千円)	2,630,002	2,883,915
食料品販売事業(千円)	3,875,612	4,356,625
合計(千円)	6,505,615	7,240,540

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
外食事業(千円)	6,917,350	7,201,521
食料品販売事業(千円)	5,873,277	6,870,392
合計(千円)	12,790,628	14,071,914

(注) 1. 主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
三菱食品株式会社	3,377,767	26.4	3,293,266	23.4

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。